

香川国際ボランティアセンター(KVC)とは

「人づくりは、国づくり」をモットーに、東南アジアにある内陸国ラオスの子供たちの支援や、香川の明日を担う青少年の人材育成を行っているNPO法人です。1993年(平成5年)、香川県初の県民の手による国際協力団体(NGO)として発足しました。

経済的には貧しいが、心豊かで平和なラオスの自立のために、支援の手が行き届かない山間部の小学校建設や、不足する教科書や絵本、文房具、運動用具、衣類などの教育支援を行っています。

香川の明日を担う若者を育成するために、香川の高校生や教員を対象として、途上国の現状や国際協力について理解してもらう「かがわ国際ボランティア未来塾」事業を実施しており、2003年以来100名以上の高校生をラオスに派遣しています。

会員は、「金のある人は金を出し、力のある人は力を出し、知恵のある人は知恵を出し、何も無い人は汗を出す。」というように、それぞれの会員の出来る範囲で活動を行っています。

KVCは、持続可能な社会の実現をめざし、SDGsの活動に取り組んでいます。

KVCは、2022年、所轄庁から「認定NPO法人」として認定されています。



かがわ地方創生SDGs登録マーク



あなたも、ラオスの子供達、 香川の若者達のために、一緒に活動しませんか？

1 会員になる

どなたでも入会できます。入会希望の方は、「住所、氏名、メールアドレス」を、E-mailでお申し込みいただくとともに、会費を下記振込口座にお振り込み下さい。

- 年会費 正会員(総会議決権有)：年会費 5,000円/人
賛助会員(総会議決権無)：年会費 2,000円/口

2 応援をする

KVCの活動を、寄附という形で応援していただける方を、お待ちしております。

KVCは「認定NPO法人」として認定されており、寄附金については税制優遇措置(寄附金額2千円を超える額が対象)が受けられます。

- 寄附金のご入金は、下記振込口座をお願いいたします。

ご入金の際は、寄附金税制優遇措置を受ける際に必要な「寄附金受領証明書」をお送りいたしますので、「住所、氏名、寄附金額、入金日」をE-mailでお知らせください。

お申込みE-mail info@npo-kvc.org

振込口座

百十四銀行 栗林支店 普通 1324881
名義 特定非営利活動法人香川国際ボランティアセンター

ゆうちょ銀行 記号16380 番号11078201
名義 香川国際ボランティアセンター



あなたの心を、ラオスの子供たちに伝えませんか。

KVC Kagawa International Volunteer Center



ホームページ <https://npo-kvc.org>

Facebook <https://www.facebook.com/ngokvc/>

E-mail info@npo-kvc.org



ホームページ



Facebook

NPO法人
香川国際
ボランティアセンター

香川国際ボランティアセンター(KVC)の活動

「人づくりは、国づくり」

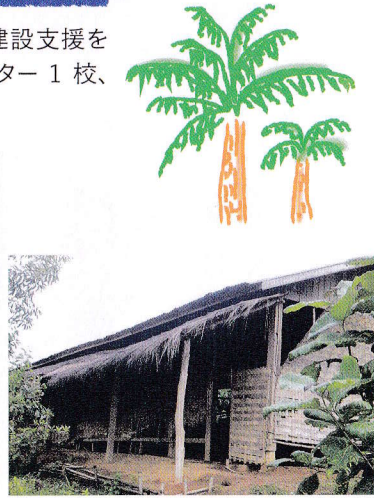
ラオスの子供たちの支援と、香川の明日を担う若者たちの育成を行っています

ラオスの学校建設

支援の手が行き届かないラオスの山間部にある学校の建設支援を行い、これまでに小学校 6 校、中学校 1 校、青少年センター 1 校、職業訓練学校 4 校を建てています。



KVCが建替えた小学校



建替え前の小学校

香川の若者の育成

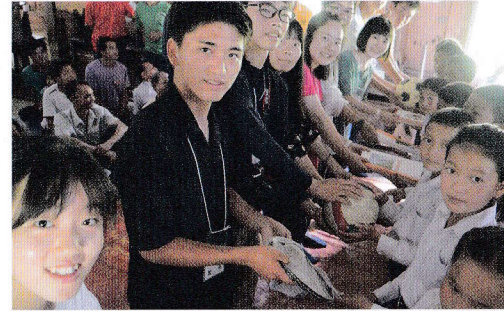
途上国の現状や国際協力について理解し、国際的に活躍できる人材を育成するため、香川の高校生や教員を対象に「かがわ国際ボランティア未来塾」事業を実施しています。



青年海外協力隊(看護師)が活躍する病院を訪問した、香川の高校生たち

子供たちに教材を贈る

ラオスの山間部の子供たちのために、不足している教科書や絵本、文房具、運動用具、衣類などを贈っています。



山奥の小学校に香川の高校生が文房具などを贈る



ラオスについて

ラオスは、人口 730 万人、日本の本州と同じ面積で、中国、ベトナム、タイ、カンボジア、ミャンマーに囲まれた内陸国で、穏やかで平和な「微笑みの国」と言われています。1965 年から 10 年間の内戦により、300 万トンもの爆弾が落とされ、その不発弾が今なお地中に多く埋まっているために、開発が遅れています。



フェアトレード

ラオス山間部の少数民族の女性が織る、美しい絹織物や民芸品を現地で適正価格で仕入れ、香川でバザーを行い、その収益を再びラオスの子供たちのために使う「フェアトレード」活動を行っています。



肌触りの良いラオスのシルクストール

不発弾撤去の支援

ベトナム戦争時に投下された爆弾が、今なお無数にラオスの地中に埋まっています。その不発弾が子供たちの命を奪っているため、不発弾撤去活動を支援しています。



国際条約で使用禁止となっているクラスター爆弾

